

あなたの声をお聞かせください

「市長への手紙 HOTT函、e HOTT函」

問 総務課 ☎49 31111 (内線258)

HOTT函

市役所正面玄関前と中央玄関にあります「HOTT函」に投函してください。はがき、封書でも受け付けます。

T017 8555

大館市字中城20番地

大館市役所「市長への手紙」係

e HOTT函

大館市ホームページ内の「e HOTT函」から手順に沿ってお送りください。

ホームページアドレス

www.city.odate.akita.jp/

市民と語る会

市長が会場に直接伺い、皆さんからの要望や提言に対し、その場でお答えします。

町内単位でお申し込みください。詳しいことは総務課広報広聴係までお問い合わせください。

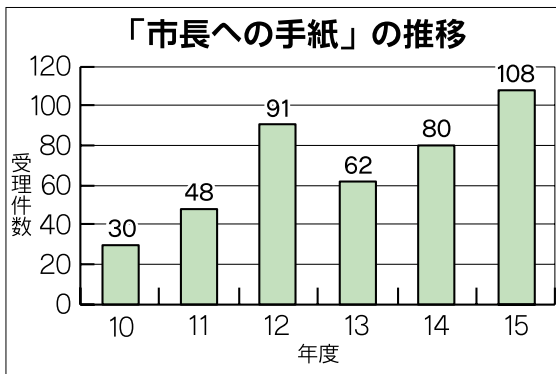
☎49 31111(内線258)



市政への意見や要望があるときには、どうしますか? 「こうすればもっとよい大館になる」「私はこう思う」といった提言を、市長に対し、手紙や電子メールで送ることが出来ます。それが「市長への手紙 HOTT函」と電子メールによる「市長への手紙 e HOTT函」です。

皆さんから寄せられた提言は、いずれも市長が目を通し、緊急性の高いものはすぐに対処し、また今後の施策への参考になるものは関係部局で検討しています。

昨年度の総数は、前年度を上回る108件。そのうち電子メールによるものが48件でした。



昨年度寄せられた手紙と回答の要旨を、紹介します。

市民の声を反映させて

大きなプロジェクトには、市民の声が直接反映するようにワーキング方式にはどうでしょうか。

(50代・女性)

協働で課題に取り組みます

市では、平成13年度の「環境基本計画」の策定や、平成14年度の「緑の基本計画」の策定など、市の重要な計画に市民の皆さんの声を反映させるため、公募した委員や皆さんの中から選んだ委員に審議していただいています。

また、プロジェクトに限らず、介護、子育てなどあらゆる面において、住民参画の仕組みをつくりていくことは、これからますます重要になると考えています。市民の皆さんの認識も高まりつつあると感じています。

ワーキング方式を始めとして、行政と市民、企業、NPOなどが連携し、かつパートナーとしてまちづくりを進めていくことが、これからの街の活性化にもつながっていくものと考えています。素案づくり(白紙)からの市民の皆さんの参画を推し進めるなど、できる限り市民の皆さんの声を反映させていく努力を続けていきます。

若者向けの店が欲しい

市内には、若者向けの店、特に雑貨やファッション関係の店が少ないと思います。

大町や御成町の商店街にファッション関連のお店を並べ、仕入れる洋服も都会で流行しているものを、いち早くそろえられたら、若者も市内で買い物をするのではないのでしょうか。

年配の人向けの施設・シヨップなどがかりが重視され、若者向けのものは何もないのが寂しいです。

(20代・女性)

合意に基づく取り組みが不可欠です

中心市街地再生のためには、行政だけでなく、商店街などの商業団体や商業者、住民との「合意」が得られて、初めて実現が可能となります。そして、その「合意」に基づく取り組みが、真の中心市街地活性化に不可欠であると考えています。



平成15年11月11日に曲田会館で行った市民と語る会